

市民クラブ 大西 克美 議員

施政方針について

(質問) 重点政策方針の成果、取り組みの達成状況。自主財源の強化(滞納税への取り組み)や、特色事業(新事業への取り組み)について。

(答弁) 防災危機管理課の設置、公共施設の耐震化、防災スピーカーの整備、自主防災組織の育成など多くの取り組みが前進していると感じる。子ども・高齢者のワクチン接種費助成、子

ども相談体制強化、教育施設の整備など推進した。(仮称)鈴鹿パーキングエリアスマートインターチェンジの設置許可、鈴鹿のお茶や鈴鹿抹茶など地域ブランド化への取り組みなども進展した。財源強化は、コンビニ納付、夜間休日窓口開設など納付機会の拡充。三重地方税管理回収機構や特別滞納整理班への回収移管で実績をあげている。

特色事業は、市HPでの5カ国語翻訳サービス導入や文房四宝まつりの開催、通学路の防犯灯設置、小学校パソコン教室へタブレット型導入などがある。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

防災対策について

(質問) 防災スピーカーが設置されたもののスピーカーの音がどこまで届いているかの検証が充分ではない。阪神淡路大震災の教訓を伝える「人と防災未来センター」への防災危機管理課の職員の研修派遣を考えてはどうか。民間が行う津波避難ビルに提供する為の工事等への補助金制度は考えられないか。

(答弁) 防災スピーカーの聞き取り確認は行っているが、他の手法の確認方法も検討する。

「人と防災未来センター」等により、災害の現状を肌で感じたうえで業務に当たることは大変有効であり大切であると考えてるので今後職員研修に活用することを検討する。

外階段の設置、転落防止フェンス等の、民間が行う津波避難施設の工事に対する補助制度については、今後調査研究していく。

その他質問 ○公共施設のマネジメントについて
○行政経営、市民サービスの充実について

緑風会 山口 善之 議員

施政方針について

(質問) まちづくり基本条例に基づき、まちづくりは地域住民の意思決定、責任において組織していくとあるが、地域ごとに課題、問題があり要望が山積みしている。地域で処理した方が迅速にできる要望は、地域予算制度を導入し、現在の補助金制度ではなく、一括交付金としてまちづくり組

織へ予算化し、責任をもって用途を決定する。この方法により今以上に地域を良くしようとの意識向上につながると思うがどのようにお考えか。

(答弁) まちづくり組織が持続的な運営を行い行政に代わって住民ニーズに対応するには人的支援とともに、資金面での支援が必要。昨年立ち上げた全庁的な検討会議で、地域支援のあり方の検討を行っており、地域にとって一番の課題である、活動費の確保に関して地域予算制度の導入を検討している。

公明党 池上 茂樹 議員

施政方針について

(質問) 中勢バイパス等の幹線道路の建設で農地等が造成整備され、そのことによって整備周辺の冠水が起きている。道路建設が進む一方で、周辺での調整池の整備や雨水対策等の排水整備が進んでいない。今後、道路整備を進める中、

排水対策を急ぐべきだが。

(答弁) 排水対策について、道路の計画、設計段階から、並行して十分に協議、検討を重ね、排水路の改修、整備などについて計画をしている。道路排水の放流先となる排水路の暫定的な改修を行うなど、道路建設に伴う浸水被害を最大限、抑制するよう努める。

来年度から「鈴鹿市総合雨水対策基本計画」の策定に着手する。